

# 『電腦冒險記ウェブダイバー』特典ドラマCD

## 『Web騎士の帰還』

(仮)

第三稿改

脚本 久保田雅史

### 【登場キャラクター】

グラディオン（マグラディオン）

結城ケント

有栖川アオイ

結城カイト

倉知ショウ

カロン

聖剣士クロスロード

リュウト

ダークグラディオンバスター（DG）

ライバル

主審

アナウンス

ナレーション

決定稿

□ Aパート

□ オープニング

M（オープニング）

グラディオン「アーマードを聞く時は、音量に注意して楽しんで聴  
こてくれ！」

□ ナレーション

S E（Weeb戦士達とアーマード軍団との壮絶な戦い）

ナレーション「かつて惑星クーリアを壊滅させた悪魔のプログラム  
デリトロス。クーリア人の戦士達は死闘の末、デリトロスの討伐  
に成功する。だが、一萬年という永き時間をかけ、デリトロスは  
復活！ データノイドとなり、全宇宙の現実世界（リアルワール  
ド）と電腦世界（Weebワールド）、一つの世界の支配を企み、地  
球へと襲来した！ しかし、Weeb騎士となつたグラディオン達  
かつての惑星クーリアの戦士達、そして彼らと心を一つにする地  
球の少年、結城ケント達ウェブダイバーの活躍により、遂にデリ  
トロスは倒された！」

ケント＆グラディオン「アーマー・ザーン、一悶一！」

S E（ピクトリー・ザーン、一悶一）

リュウ（デリトロス）「（大苦悶）うおおおおおおおおおおおおお！」

S E（トロス、消滅）

ナレーショն「そして宇宙は再び平和を取り戻し、五年の歳月が流れた…」

□ サブタイトル

Ｚ（サブタイトル）

グラフィオン「Webs騎士の帰還」

□ 結城家・ケントの部屋・朝

SE（朝のイメージ＆起動し鳴り出す田覚ましアラーム）

カロン「(田覚まし時計のアラーム音) 朝だぴょー… 朝だぴょー… 気持ちのいい朝なんだぴょー…」

ケント「(半分夢の中) …ん…んん…もつもつと寝落ちてくれよお…むこやむこや… (再び夢の中へ) オー…オー…」

SE（通信用パネルが勝手に起動しアオイ&カロンが現れる）

アオイ「(ガックリと落胆) はあ～やつぱり…思つたとおり… (大きく息を吸つて) す～～～～ (怒り爆発) 結城ケントおおおお～」

SE（チユードーンと怒り爆発）

ケント「うわああああああ～」

SE（ベッドから転げ落ちるケント）

ケント「痛ででで…一体、何が起つたんだ」

アオイ「おはよ、ケント」

カロン「おはよう、ケント」

ケント「アオイ達かよ。（まだ眠い）ふあああああ…たく朝つぱらから、なんなんだ？」

カロン「朝つぱらひて、もつお腹近くぴょー」

アオイ「（優しく）ねえ、ケント、今日はなんの日だか、当然覚えてるわよね？」

ケント「（キョトン）今日…モーや、何か特別なコトがあつたよーな…？」

アオイ「（ニコニコ）うんうん…」

ケント「（ハツ）あ…思い出したぜ…ズバリ、振替休…」

アオイ「（食い氣味に）違～～～～～～～～～～～～～～～～～～」

## SE（再びチユドーンと怒り爆発）

ケント「（ドキッ）こ…」

アオイ「（激怒）大切な記念日でしょー！ あなた達、ウェブダイバーがデリトロスの手からマジカルゲートを取り戻した五周年のセレモニーのある…」

ケント「（気圧され）モーや、モーダつたよーな…」

アオイ「だつたよーなじやなーい！ （拳を握り的に） 今日の五周年の記念セレモニー、その準備のために私がどーんなに苦労させられたと思ってる…。（ムーッ） 大体、おじいちゃんが全部私に押し付けて海外出張に行つちやうから…。（まくして）会場の準備は勿論、ゲストの選定、各種関係者への許可申請！ そしてパーテイーで出す料理やドリンク、マジカルステーションから打ち上げるお祝いの花火、子供ゲスト向けの着ぐるみ、果ては会場に設置する簡易トイレスの手配まで…ぬわんでうら若き乙女が、トイレスの設置場所で昼も夜も悩まなくつちやいけないのよー！」

ケント「（遮り）いやつ、そんなコト、オレに言われても…」

アオイ「(逆)三角のジト田で) とにかく、今日のセレモニーの主役は  
ケントなんだから、遅刻したりすうてたまに許さないからねー」

ケント「(氣圧されて) は、はい…」

アオイ「それと毎晩遅くまで竹刀振り回すのも結構だけど、『んな  
に朝寝坊して…少しほとぎすを勞わりなさい。ムキになつちやつて…  
いつまで経つても子供なんだから…』」

カロン「ケント、あまりアオイを怒らせてない方がイイぴょ！」

SE (ブツンと通信終了)

ケント「はあ～、最悪の寝起きだ…」

カイト「(鼻で笑い) フフンッ」

ケント「(ハッ) ん… わつ、カイトお… いつの間に…?」

カイト「(からかい半分でわざと氣色悪く) おはよう、兄ちゃん」

ケント「(氣色悪つ) な、なんだよ? 何か言いたそうな顔して…」

カイト「(ニヤニヤ) いや～今朝も伸びいなって思つて。(耳元で意  
味深に) アオイさんとお～～～」

ケント「(赤面) だあつ、うるせえ! 勝手に人の部屋、覗くな…」

カイト「顔が赤いぞ」

ケント「くつ… (枕を投げて) といとと出でせー…」

カイト「(逃げ出し) ハハハッ!」

SE (ブツンッと通信パネルが再度起動)

ケント「カイトのヤシ…でも、いつまで経つても子供、か…」

ケント「通信? またアオイか? つたく…だーかーら、ちゃんと  
時間どおり行くつて…」

グラディオン「アオイ? …なんの話だ?」

ケント「へつ? 誰? わつ?」

SE (通信パネルから飛び出す光&光、グラディオンになる)

ケント「ウソお! 通信パネルから誰が出て来た!」

グラディオン「(振り向き的に) 久しぶりだな、ケント!」

ケント「へつ? グラディオン? …グラディオンじゃないか!」

□ 結城家付近・海辺の公園

SE (波音&海鳥の鳴き声)

ケント「余うのはアンドロメダ星雲まで一緒に旅した時以来だな」

グラディオン「(真顔で) 老けたな…ケント」

ケントのW 「もうちょっとマシな言い方ってもあるだろう? 大きくなつたなあとか、立派になつたなあとか…」

グラディオン「(無表情的に) どうした、ケント?」

ケント「はあ…それで、Web騎士達は見つかったのか? 別れる時、言つてたよな。惑星クーリアが滅亡した時、グラディオンみたいな宇宙の電腦空間に飛ばされた仲間を捜す旅に出るつて…」

グラディオン「うむ。まだ旅半ばだが、何人かと出合つコトは出来た。その誰もがそれぞれの惑星(ほし)の電腦空間でWeb騎士として立派に活躍していた」

ケント「そつか。みんな遠い宇宙の彼方で頑張っているんだな。で、一体、グラディオンはどんな冒険をしたんだ?」

グラディオン「(思案) 冒険…冒険か…。ど「から話せばいいのか…。

そつか…あれはケントと別れてすぐの話だ…」

ケント「(元気なく) ふうん、」の五年間、グラディオンも大変だったんだな…」

グラディオン「(気付き) どうした、ケント? あまり元気がないよう見えるが…」

ケント「(あまり言いたくないな) 別に大した話じゃないさ。コッチはコッチで五年の間、イロイロあつたってコト…」

グラディオン「(優しく) よかつたら、話してくれないか…?」

ケント「うーん… (シブ・シブ) じ、実は…」

□ ケントの話・剣道のイメージ

SE (剣道の試合のイメージ／打ち込む音等)

ケント「戦いが終わって平和になって、オレは五年間、ずっと剣道に打ち込んで来たんだ。おかげで腕もかなり上がった、全国ジュニア選手権で準優勝するまでになつたんだぜ」

グラディオン「す、じやないか、ケント」

ケント「だけど、いつも結果は準優勝。同じ歳にとんでもなく強いヤツがいてさ、そいつにだけはどうしても勝てないんだ。今年は中学最後の年、国際ジュニア選手権に出られる最後のチャンスなんだけど…出場の条件は全国優勝。大会も田の前に迫って、毎日猛特訓してるんだけど…なんか全然、勝てる気がしなくて…」

×

×

×

——イメージ終わり

グラディオン「その猛特訓のせいで寝坊したり、疲れたような顔をしていたのか…」

ケント「(血虚氣味に) 焦っているのか、それともアオイが言つよう、オレがまだまだ子供で「負けたくない」って気持ちが先走つ

ているのか…。武道で大切なのは相手との勝ち負けじゃなくて、

己との戦い…そんなコト分かつてゐつもりなんだけどせ」

グラディオン「そうか……（ちょっと思案して）ケント、あの戦い

ケント「(キラトシ)あの戦い?」

SE（寄せては返す波音）

グラディオンのM 「それは最終決戦の少し前の話だ」

□ ケントの回想・デリトロスゲート・マジカルステーション

SE（飛行中のマジカルステーション&敵の攻撃！）

(着弾して爆発＆ブリッジに轟く警報！)

ケント&カイト「（爆発と衝撃にフロアに倒れ）うわあああああっ！」

カロン二三のままではマジカルステーションがもたないひよ」】

おがくでいるが、おんがくにゆき

卷之三

してデリトロス城に向かっているのに…」

カイト「もしかして眠つていりやッ?」

ガロン「それは有り得ないひよ」。恋ぐりエトナは我々がアリト

口ス城へ向かっている口に氣付いているひよ〕。行先が判つて  
いるのに、わざわざこんな辺境空域で罠を仕掛ける必要ない。ひよ

1

アオイ「前方に次元変動空域出現！」 吸い込まれるわ！」

S E (次元変動空域に吸い込まれるマジカルステーション!)

アオイ「Webソルジャーが来る… 気をつけて！」

S.E.（連続被弾＆連続爆発、そして大爆発！）

ケント達一同「わああああああ（キヤハハハ）…」

S.E.（鳴り響く警報！）

アオイ「（懸命に操縦）ううう…推力急速低下！」

ケント「みんな、何かに掴まれつ…」

S.E.（ズドーンと墜落するマジカルステーション…）

□ 全・デリトロスゲート辺境空域・封印の遺跡 A

S.E.（ブリッジに幾つも鳴り響く警笛音…）

ケント「（立ち上がり的に）ううう、無事か、みんな？」

カイト「（目が渦巻状態のヘロヘロで）う、うん…大丈夫だお…」

S.E.（レーダーに反応…）

ケント「何処だ、ここは？ 何かの遺跡みたいだけ…」「

カロン「わわわっ、全方位からWebソルジャー、急速接近！ とんでもない数だぴょー…」

ケント「マズい！ グラディオンで出るぞ！」

アオイ「（駆け出すケント達の背中に）急いで飛行プログラムを修復するわ。それまでなんとか時間を稼いで…」

S.E.（駆け出しブリッジから出て行くケント＆ショウ…）

□ 全・MSブリッジ／グラディオン格納庫

S E (ケントが乗ったエレベーター降下＆停止!)

ケント「ウェブダイブ！ グラディオン！」

S E (ケント、グラディオンにウェブダイブ！)  
(輝くグラディオンのエンブレム！)

(扉が開き、グラディオン・ビークルモード発進位置へ！)

カロン「グラディオン・ビークルモード、緊急発進スタンバイ！ グラディオン、シユート！」

□ 全・デリトロスゲート・辺境空域・遺跡A

S E (グラディオン・ビークルモード、緊急発進！)

ケント「ウェブチェンジ！ グラディオン・ファイターモード！」

S E (グラディオン、ファイター mode にウェブチェンジ！)  
(顔のグラシアーメットが作動！)

グラディオン「来てくれ、ワイバリオン！ 私に勝利の力を！」

S E (飛来＆変形するワイバリオン！)  
(ワイバリオン、グラディオンと合体！)

▽グラディオン「(決めて) ビクトリー！ グラディオン！」

S E (↙グラディオン、ビシッと決めボーズ!)

□ 全・デリトロスゲート・遺跡A

S E (飛来するソルジャー群、発砲!)

ケント「来たぞー!」

↙グラディオン「グラムブレードー!」

S E (ジャキーンとグラムブレード出現!)

↙グラディオン「はあー!」

S E (↙グラディオン、連續斬り&連續爆発!)

↙グラディオン「グラムマグナムー!」

S E (グラムブレード、変形してマグナムになり、連續発砲!)  
(連續狙撃される↙モロソルジャー、爆発!)

↙グラディオン「グラムブラスター!」

S E (グラムブリスター、発砲&モロソルジャー群、撃破!)

ケント「ウソだら? また現れた! これじゃ、いくら倒してもキ  
リがない!」

↙グラディオン「こいつたつたら…(ブレードを見て) むうー!」

S E (グラムブレードが発光&共鳴音!)

ケント「どうなってるんだ？ グランブレードが輝いてる  
↙グラディオン「！」の反応…何かに共鳴しているのか？」

S E (フレードの反応の方へ向き直る↙グラディオン！)

↙グラディオン「…」の方向だ…」

ショウ「（ハッ）そうか… 分かったぞ、ケントくん！ ロロには何かデリトロスにとつてとても重要なモノがあるんだ… 感じぐらのWebソルジャーの大群はそれを守るためのもの…」

ケント「その何かとグランブレードが共鳴しているのか？」

S E (↙グラディオンに連続着弾！)

ケント&↙グラディオン「（攻撃）うあああああああ…」

ショウ「くうう… ケントくん、僕もダイタリオンで出る… ロロは僕に任せて行けっ！」

ケント「（困惑）でも、ショウさん…」

ショウ「デリトロスがこれだけの戦力を使ってでも守りたいモノ… もしかしたら僕達の戦いを有利にするモノかも知れない…早く行けっ…」

ケント「…（決意）わかったよ！ グラディオン、行こう…」

S E (グラディオン、ズバーンと翔んで行く！)

□ 全・デリトロスゲート辺境空域・封印の遺跡B

S E (飛行する↙グラディオン！)

(共鳴反応が強くなるグランブレード…)

↙グラディオン「グランブレードの共鳴が大きくなっている…かな

り近いぞ！」

SE（Ｗｅｂソルジャー数機、攻撃しながら接近！）

↙グラディオン「Ｗｅｂソルジャーめつ！（斬り）ハツ！ハアツ！」

SE（斬られ真っ一つになるＷｅｂソルジャー、爆発！）

（突如、遺跡の一角から沸き上がる閃光！）

ケント「くうつ、眩しい！ 遺跡から光が…なんだ？」

↙グラディオン「あれだ！ グランブレードはあの光の柱を指し示している…」

SE（飛来し、ズーンっと着地＆歩く↙グラディオン！）

↙グラディオン「一体、この場所に何が…？」

ケント「見る、グラディオン！ 光の柱の根本…何かある…（目を凝らし）あれは…緑色のクリスタル？」

↙グラディオン「（ハツ）違う！ あれは…聖剣グラансスレイヤーだ！」

ケント「聖剣グラансスレイヤー？」

M（アイキャッチ／Aパート・終了）